

子供のチカラ × 地域活動

# 「先生、あのね・・・～詩集『サイロ』の50年～」 第9回「上映と朗読会」を開催

## 上川管内で初・当麻町立宇園別小で1月29日(水)

十勝地方に半世紀以上続く子どもの詩集「サイロ」にスポットを当てたドキュメンタリー番組、HTBノンフィクション「先生、あのね・・・」(2011年5月放送)。番組の放送後、もっと多くの子どもたちや親たちに見てほしいという声をたくさんいただいたことから、HTBは、2012年から地元・帯広や鹿追町、札幌で番組の上映と朗読の会を開催してきました。

9回目は1月29日(水)に上川郡当麻町立宇園別小学校で実施しました。

当日は、当麻町長、教育長をはじめ保護者など地域の人々が見守る中、1年から6年生までの18名の児童が参加して番組ディレクターの五十嵐いおりと依田英将アナウンサーによる朗読に続き、子どもたちによる自作の詩の朗読も行われました。さらに子どもたちはグループで1つの詩を作る「連詩」にも挑戦。「普段から作文に積極的に取り組んでいる」(菊地俊治校長)宇園別小の子どもたちはサラサラと詩を完成させていきました。

「上映と朗読会」の活動は放送界の最高賞「第51回ギャラクシー賞」の報道活動部門の2013年度上期入賞作品の一つに選ばれています。HTBでは、今後も各地で同様の会をさらに続けていきたいと考えています。開催にあたって、番組のディレクターで会を企画した五十嵐いおりは「詩集『サイロ』は十勝に住む人にとって、当たり前存在ですが、それはまぎれもなく地域の宝物です。子どものみずみずしい感性と詩心、そして詩集を発行しつづけてきた大人たちの思い。詩集『サイロ』を巡る物語は、十勝に住む人はもちろん、全国各地どこにあっても、人々を感動させるものです。私たちは、番組上映と朗読会を通して、そのすばらしさを伝える活動の灯を、長く灯し続けたいと思っています。」と話しています。

